

## 令和元年度 小笠原諸島森林生態系保護地域部会

### 第1回小笠原部会 議事概要

日時：令和元年 6月17日（月）14:30～16:30

場所：（父島）地域福祉センター2階大会議室

（母島）小笠原村村民会館2階会議室

（内地）小笠原村東京連絡事務所2階会議室

#### 1. 令和元年度 小笠原諸島森林生態系保護地域に係る主な事業予定について

- ・特段の意見なし。

#### 2. 令和元年度 林野庁・環境省・東京都・小笠原村における主な事業内容について

##### ① 林野庁事業

- ・気候変動モニタリングに関して、父島夜明山で環境省も気象観測を行っているはずなので、これらのデータも参考とするとよい。
- ・オガサワラグワに関係する知見や課題を統括する場があるとよい。科学委員会下部WGなどに取組んでもらい、小笠原諸島全体で検討できるとよい。

##### ② 環境省事業・東京都事業・小笠原村事業

- ・危機的状況にあるコバトベラ、シマホザキラン、コヘラナレンについては、増殖の取組が急務であり、様々な手段を検討いただきたい。
- ・Cラインの土砂流出対策に関して、モクマオウの土壌捕捉効果を利用した対策が出来るのではないか。
- ・危機的状況にあるオガサワラシジミの保護増殖に向けての取組を、母島だけでなく父島にも進捗状況を伝えていただきたい。
- ・父島でノヤギを排除した後、外来植物のコントロールを含めて、どのような森林を目指すのか議論が必要であり、関係機関全体で協力いただきたい。

#### 3. 令和元年度 ボランティア・森林環境教育等の実施に係る連携・協働について

- ・ボランティアの受入体制について、柔軟に対応いただきたい。

#### 4. 令和元年度 民間団体との協定締結による森林づくりについて

- ・特段の意見なし。

#### 5. 小笠原諸島森林生態系保護地域 保全管理計画改定について

- ・アデクなど古い植物名については修正した方が望ましい。
- ・世界遺産管理計画を下敷きにしているということだが、管理計画が策定されて既に2年

が経過しており、その2年間でも新しいことが起きているので、アップデートしていただきたい。

- ・管理計画が施行されて10年が経過したということで、どのようにこの保護林地域が使われてきたか一度評価するべきである。小笠原諸島は他の地域と比べて大きな問題はないと思う。
- ・アカガシラカラスバトの営巣箇所は拡大していることから、今後は（通行止にするのではなく）、静かに注意して通行するなどの現実的な対応をお願いしたい。
- ・弟島のオガサワラグワの遺伝子攪乱を防ぐためには、孫島のシマグワを駆除する必要があるので、検討いただきたい。
- ・改定にあたっては、策定当時と同様に丁寧に島民に説明する場を設けていただきたい。

## 6. その他

- ・指定ルートの見直しの前に、森林生態系の保護地域の区域の見直しが必要ではないか。また、指定ルートの利用形式は父島と母島では状況が大きく異なることから、検討する場合は島別に実施した方が望ましいのではないか。
- ・管理計画の見直しがなされるということだが、指定ルートの利用ルールについても見直しがなされるよう検討いただきたい。
- ・利用に関して、観光協会が議論の場にはないのであれば、観光業の意見が反映されるよう検討いただきたい。
- ・ルートの利便性と安全性の確保と向上のため、小笠原村として、歩道として一元管理をしていきたいと考えており、検討いただきたい。